



小国人



令和7年4月8日（火）発行

第1号

文責：校長 横澤 聡一

46名の新入生のみなさん

小国中学校への入学おめでとうございます！！

4月7日（月）に46名の新入生を迎えて入学式が行われました。在校生が温かく迎える中、真新しい制服姿で堂々と入場する姿、元気のよい返事、真剣な眼差しで話を聞く姿など、中学生らしい振る舞いに感心しました。

今日から、令和7年度小国中の新たなスタートです。全校生145名で、どのような新たな歴史を創っていくことができるのか、とても楽しみです！！

新入生代表の塚原 美桜さんは、

中学校で頑張ることを具体的に3つ挙げ、堂々とした態度で挨拶しました。

【新入生代表挨拶】



（略）今私達は、中学校生活への期待でいっぱいです。初めてのことに不安もありますが、その環境の中でも、私が頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、勉強です。中学生になると小学校とは違い、学習内容が難しくなります。その中でも、私が苦手とする算数が数学へと変わります。私は、「あきらめない」という言葉をキーワードに、難しい問題にどんどんチャレンジしていきたいです。そして、苦手を克服し、得意教科にできるように頑張りたいです。

2つ目は、部活動です。私は、小学校生活で陸上を頑張ってきました。たくさんの大会に出場し、様々な経験をしました。私は、自分の記録を伸ばせた時の達成感や優勝した時のうれしい瞬間を、部活動を通して仲間と一緒に分かち合いたいと思っています。陸上部の先輩方のかっこいい姿が目にと焼き付いているので、そんな先輩方の姿に少しでも近づいていけるよう、努力していきたいです。

3つ目は、あいさつです。小学校では、自分から進んであいさつをすることがあまりできませんでした。小学校での反省をふまえて、中学校では一步を踏み出し、自分から進んで明るいあいさつすることを心がけていきたいです。

これからの中学校生活は、小学校では経験しなかった、新たな壁にぶつかることがあるかもしれません。そんな時は、一人で抱え込まず、友達や先輩方、先生方などに頼ることも大切にしていきたいです。そして、私も身の回りの人に手を差し伸べながら、充実した3年間を過ごしたいと思います。3年間よろしくお願いいたします。



在校生代表 生徒会長の石山 夏希さんが歓迎の言葉を述べました。

小国中学校の授業や部活動、小国中生が力を入れている行事等について触れ、新入生を温かく迎えようとする優しさが感じられる挨拶でした。

【在校生代表挨拶】

(略)優しい春風に背中を押され、新たな一步を踏み出された新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

46名の新入生を迎え、令和7年度の小国中学校をスタートできることを、とても嬉しく思います。今、皆さんはこれから始まる中学校生活への期待や不安が入り混じっているのではないのでしょうか。最初は環境の変化に慣れない人もいるかもしれませんが、しかし、ここにいる仲間と毎日の生活を重ねていくことで、きっと中学校ならではの楽しさや充実感を味わうことができると思います。困ったときは、私たち2・3年生や先生方に遠慮なく聞いてください。私たちは、皆さんが一日も早く中学校に慣れるように、全力でサポートしていきます。

中学校では小学校と比べ、様々なことが変わってきます。例えば、一回の授業が50分間になったり、勉強する教科が増えたり、年に4回の定期テストが実施されたりします。そのため、小学校の頃よりも勉強に向き合う時間が増えていくでしょう。目標を立てて、計画的に学習することがとても大切になります。勉強面だけでなく、部活動や検定、弁論大会などの様々なことも中学校では経験できます。是非、興味があることには積極的に挑戦してみてください。他にも運動会や合唱コンクールでは小国中生が本気になり、学校全体で行事を作り上げるため、毎年大いに盛り上がります。皆さんも是非私たちと一緒に楽しみましょう。

中学校3年間は皆さんが想像する以上にあっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切に、そして仲間を大切に、今日からの中学校生活を送ってほしいと思います。ここにいる全校生の力を合わせて、より居心地のよい小国中学校にすることを誓って、歓迎の言葉といたします。



新任者紹介

この度の人事異動により、本校に赴任した職員です。どうぞよろしくお願いいたします。転出された先生方にはたいへんお世話になりました。